

次世代の九州がんプロ養成プラン

■ 課題

- 九州は全国の離島・僻地の約半数を有し、がん医療に必要な人材が不足。
(例：がん薬物療法専門医の不足 右図参照)
- がん治療の長期化に伴い、患者の身体的・精神的・社会的負荷への対応が必要
- プレジジョン医療を推進し、自ら研究開発できる人材が必要

■ 事業概要

- 九州医療系11大学で拠点を形成。
- 「事業運営推進協議会」により、意思統一と円滑な運営を実施。
- 誰一人取り残さないがん対策を推進する教育コースを各大学に新たに開設
- プレジジョン医療、就労支援、遠隔地医療に特化した教育プログラム
- さまざまな職種に学びの機会を提供可能とする、各種研修モデルの策定
- 毎年の内部・外部評価、他拠点との合同研修による、事業のブラッシュアップ

■ 本プランが開設する36の新たな教育コース (インテンシブコース含む)

大学名	開設 コース数	コース種別 (※)			コースにおいて 養成する主な職種
		顕在化 した課題	がん予防	治療開発	
九州大学	8	●	●	●	医師 薬剤師 医用物理士 検査技師
久留米大学	3	●			医師 看護師 多職種
福岡大学	2	●			医師 多職種
産業医科大学	4	●		●	医師
大分大学	3	●	●	●	医師 看護師 多職種
佐賀大学	1	●		●	医師
長崎大学	3	●	●	●	医師 歯科医師 看護師
熊本大学	2			●	医師 薬剤師
宮崎大学	4	●			医師 薬剤師 看護師
鹿児島大学	3	●	●	●	医師 薬剤師 看護師
琉球大学	3		●	●	医師 看護師

※ 1つのコースが複数の種別を兼ねる場合を含む。

■ プランイメージ図

国内関係機関

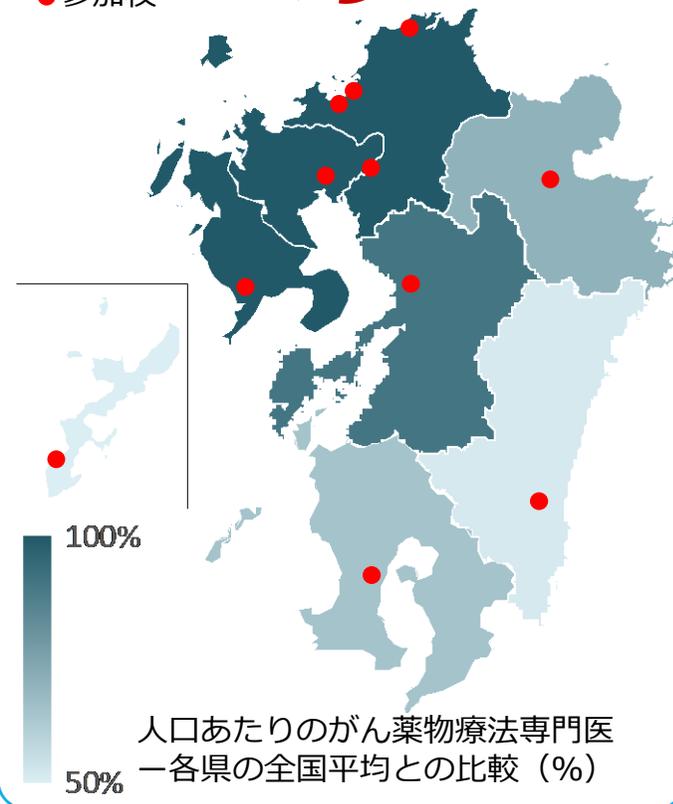
参画大学他部局
(例：両立支援科等)
地域医療機関・医師会
地方自治体
本事業採択他拠点 等

海外大学・医療機関等



連携

● 参加校



**九州で人材を養成することにより、効率的に、九州の
がん医療専門人材の偏在を解決する**